令和6年度　第2回　門司区多職種連携研修会　報告書

1. 実施概要

① 実施日時　　令和7年 3月 5日（水）19:00～21:00

② 実施場所　　門司区医師会館　3階講堂

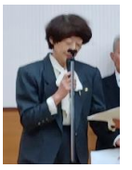
③ テーマ　　「いろいろな場所、いろいろな形の終末期の支援」～その人らしい最期を支える～

④ 講演･講師◇ 特別養護老人ホームサポートセンター門司　看護師長　野口　貴子氏

◇ グループホームえん　管理者　常原　ルミ子氏、管理者　松田　愛氏
介護主任　早田　美里氏

◇ 医療法人社団　鳥巣病院　地域連携室室長　MSW　平山　佳奈氏
鳥巣病院介護医療院　ケアマネジャー　伊原　明佳氏

◇ 住宅型有料老人ホーム　あきたけハウスもじっこ
医療法人眞秋会　あきたけ医院　理事長　眞鍋　祐美子先生



◇ 北九州ホスピスの会　世話人門司地区担当
（ケアプランセンターさとう　ケアマネジャー）佐藤　久美恵氏

⑤ 参加者

種別	人数
医師	3　名
歯科医師	2　名
薬剤師	4　名
看護師	33　名
介護支援専門員	25　名
ソーシャルワーカー・相談員	14　名
リハビリ職	2　名
管理栄養士	3　名
介護職	14　名
その他（事務職等）	5　名
合　計	105　名

種別	事業所数	参加者
病院・診療所	8	24
歯科医院	2	2
薬局	5	7
訪問看護事業所	6	15
居宅介護支援事業所	14	22
介護事業所	7	18
介護施設	9	17
合計	51	105

※他　講師8名、担当理事1名、
実行委員7名、連携支援センター職員2名
総計123名

⑥ 内容

時　間	内　容
18:58～	事務連絡（司会進行　川端歯科医院　院長　川端　賢一先生）
19:00～19:02	開会挨拶（門司在宅医療・介護連携支援センター担当理事　白川　伸一郎先生）
19:02～19:04	会長挨拶（門司区医師会会長　香月　きょう子先生）
19:04～19:05	講演（座長：辻医院　院長　辻　雄一郎先生）
19:05～20:50 質疑応答各2分	◇　特別養護老人ホームサポートセンター門司　看護師長　野口　貴子氏 ◇　グループホームえん　管理者　常原　ルミ子氏、管理者　松田　愛氏 介護主任　早田　美里氏 ◇　医療法人社団　鳥巣病院　地域連携室室長　MSW　平山　佳奈氏 鳥巣病院介護医療院　ケアマネジャー　伊原　明佳氏 ◇　住宅型有料老人ホーム　あきたけハウスもじっこ 医療法人眞秋会　あきたけ医院　理事長　眞鍋　祐美子先生 ◇　北九州ホスピスの会　世話人門司地区担当 （ケアプランセンターさとう　ケアマネジャー）佐藤　久美恵氏
20:50～20:58	質疑応答・感想等
20:58～21:00	閉会の挨拶（門司薬剤師会会長　松丸　博幸先生）

2. アンケート

1. 職種について　　回答数　95（回答率89.6%）

職種	
医師	2
歯科医師	0
薬剤師	4
看護師	31
介護支援専門員	23
ソーシャルワーカー・相談員	12
リハビリ職	3
管理栄養士	3
介護職	14
その他（事務職/放射線技師等）	3
合　計	95

2. 研修会への参加動機について（複数回答可）

1	自己研鑽のため	58
2	各施設の話を聞いてみたかったため	56
3	テーマに興味があったから	49
4	業務の一環として	13

5	その他	
	研修講師依頼	1
	理事	1
	QODに関する取り組み	1

3. 本研修会はいかがでしたか。

大変参考になった	60
参考になった	33
どちらとも言えない	2

あまり参考にならなった	0
全く参考にならなかった	0
合計	95

4. 3で選んだ理由を教えてください。

各施設での終末期の支援を学ぶ機会になり大変有意義な研修でした。
在宅ボランティアの活動を知れた。要請を行いたいと思いました。
終末期が本当に終末になっていき、体の状態が悪化してくると本人の意向と家族の意向も変わってくる…という事が分かり、ACPの必要性もよく分かりました。
看取りに取り組んでいたので他の施設の話を聞きたかった。
事例が勉強になった。看取りスタートから今まで各施設内の職員の指導や前向きに取り組めるようにする工夫が知りたいと思った。その内容が広まり、看取りをする施設が増えていけたらと思う
それぞれの施設等の特色や取り組み、本人家族の意向にできる限り寄り添うことの大切さと難しさを感じました。
病院勤務の為退院後の在宅、施設生活の事例について伺う事ができて興味深く拝聴いたしました
看取りの対応を具体的に説明して頂き、普段聞けない話だったので、とても参考になりました。
サポートセンター門司の看取りケアの取り組みが参考になりました。
勤務先で看取りをしていることと、両親の為にも参考になったので。
それぞれの事業所が、真剣にその人の最期と向きあっていることを知ることができました。ACPを活用していきたいと思いました。
看取りの意味、あり方が分かった気がする。

看取りに対する考え方や不安など、多職種の方々の視点から学ぶことができた。
他事業所の取り組みを知ることでケースバイケースのお看取りができるように事業所に持ち帰り、活かしたいと思った。
お話を聞いて今の自分の職場に足りないことが多いと思いました。
職種によっての考え方も聞けて良かったと思います。

5. 今後の研修会で希望される研修内容について（複数回答可）

認知症関連	28
ACP関連	23
医療機関との連携	23
多職種連携	23
精神疾患関連	21
緊急時の対応	20

複合的な課題を抱える方の支援	19
看取り	18
難病関連	17
緩和ケア	15
薬関連	14
退院支援	13

6. 研修会に参加しやすい時間帯について（複数回答可）

平日午後	23
平日夜間帯	67

土曜午後	10
土曜夜間帯	1

7. 本研修会についてご意見・ご感想等がございましたらご記入下さい。

寄り添う事で人間らしく最後が迎えられるのがすばらしいと思いました
実際の事例を通じて、どういう風な在宅支援をしたらよいか、を今後も勉強していきたいと思う。
寒かったので空調調整してほしかった。隣の椅子が近すぎたので間をあけてほしかった。
家族がいない方の看取りが難しい。ご本人が望んでもできないことがある。訪問して頂ける医師にとても感謝しています。いつも穏やかに最期を迎えることができています。
介護と医療が一体になれる貴重な場であると思った。これからも連携が密になれるような場を設けてほしいと思う。
いろいろな施設が一同に集まった話を伺うことは機会として多くないのでとてもよかったです。